

自主防災隊行動マニュアル

Ver0. 02

2022年11月17日
丸山団地自治会

改定履歴

	Rev	内容	年月日	
1	0.01	初版	2022年8月3日	
2	0.01	修正	2022年11月17日	
3	0.02	自主防災隊行動マニュアル修正追加	2023年2月16日	
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

<令和4年度自主防災隊活動と方針>

自主防災組織は、明日にでも起こるとされている震災への責務を全うするための、地域住民が、自主的に自分たちを守るという責務を認識して、自主的に結成する組織です。

昨年の防災訓練では、消防団の方から、震災時は消防車は来ないと理解して頂きたい事と、自分達のことは自分達で守る意識が重要と話されていました。

1995年の阪神・淡路大震災は、大規模災害時における公的機関の消火活動や防災体制の機能の限界を示す災害でした。事実、この大震災により生き埋めや建物等に閉じ込められた人のうち、救助された95%は、自力で又は家族や隣人によって救助され、専門の消防や救助隊等の公的機関に助けられたのは、わずか1.7%に止まっています。このことから、発災直後の人命救助や初期の消火活動は地域住民による自主防災の協力が大きな役割を果たすことになります。

しかしながら、丸山団地自主防災隊は、毎年人員編成は総会資料で掲載されますが、コロナ禍もあり、実質的な活動はこれからという状況です。

本自治会では、このような状況を少しでも前に進め、今後の自主防災隊活動の継起となるように防災に関わる活動をして参りました。

以下は本自治会の自主防災に関わる活動実績になります。

1. 防災マニュアルの作成
2. 自主防災隊行動計画案作成と自主防災隊メンバーによる審議
3. 自主防災隊行動計画の各班員による審議
4. 避難行動指針の作成
5. 三町防災訓練による上記指針に基づいた行動実施
6. 救護所開所訓練
7. 無線による連絡訓練
8. 防災倉庫の見学
9. 実際の丸山団地に震災が起きたときのシュミレーション考察
10. 防災倉庫点検と一元化リスト作成
11. 消火器点検、交換
12. 情報の共有化と随時閲覧を可能にするため、各資料、マニュアルなどホームページの資料ページに掲載

また設備面では消火ポンプの購入準備、中止していたAED設置準備、非常飲料非常食の準備、自治会館耐震補強計画などを行ってきました。

以上の実施内容は、次の自主防災隊にサポート制度をバックアップとして各班に引き継ぎ、自主防災隊の充実を図っていく方針です。

要支援、要介護の方は今後更に増え続けるから、避難方法や、各避難場所でのサポートは重要度を増していきます。

初期消火のための消火訓練、様々な情報の把握するための情報通達訓練など、すべきことは多くありますが、今後自治会の責務として自主防災活動の継承を続けて、自分や家族を守るための安心安全を築くために活動を続けて参ります。

【1】自主防災隊の行動内容分類

2022年8月3日
9班:岡田

分類	行動内容
1. 平常時	安全点検 防災品など確認、補充 部再活動の広報、普及 防災活動の実施
2. 災害発生時	初期消化 救出救護 情報の収集、伝達 避難誘導 避難所の開設
3. 避難生活時	避難所の運営管理 情報の収集、伝達

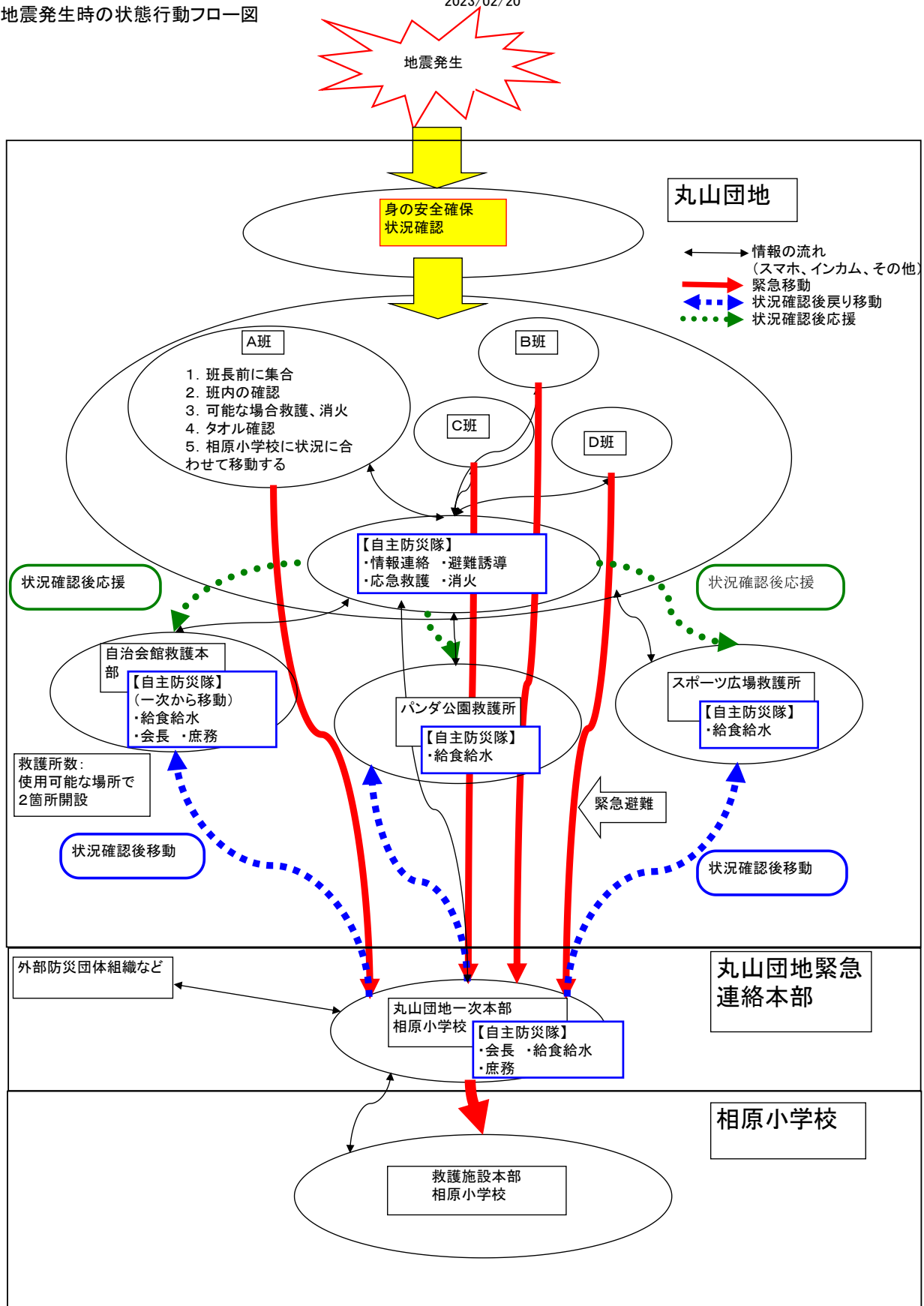
【2】自主防災隊の構成と役割

統括	班	役割内容
防災隊長	情報連絡	安否情報とりまとめ 防災情報の収集、住民への通知 被害状況の把握 対外情報取得伝達
副防災隊長	消火	消火訓練の実施 初期消火 二次被害の予防
	応急救護	応急手当方法の取得 備品の確認と補充 負傷者の救出救護 救護所の開設運営
	避難誘導	避難ルートの確認 避難訓練実施 避難行動要支援者、負傷者の避難誘導 避難所の開設
	給食給水	常備食、飲料の確認、補充、管理 避難所の開設と給食サポート
	庶務	活動全体の把握とサポート、指示

【3】令和3年度総会資料の自主防災隊メンバー構成

隊長	中元(令和4年会長)
副隊長	橋本(令和2年会長)

情報連絡	班長 池田(14) 副班長 清家(5) 早川(1)	相沢(2) 高橋(7) 小泉(12)
消火	班長 宇佐見(15) 副班長 佐伯(3)	猪俣(3) 沖田(8) 青木(13)
応急救護	班長 鈴木(4) 副班長 小杉(2)	二瓶(4) 中(9) 野澤(14)
避難誘導	班長 真田(6) 副班長	太田(5) 長野(10) 松坂(15)
給食給水	班長 名古(13) 副班長 岡田(9)	前田(1) 小林(6) 関(11)
庶務	班長 手塚(8) 副班長 大磯(12)	



【情報連絡】
 班長 池田(14) 相沢(2)
 副班長 清家(5) 高橋(7)
 小泉(12)

自主防災隊行動計画案202230220.xls

【消火】
班長 宇佐見(15) 猪俣(3)
副班長 佐伯(3) 沖田(8)
青木(13)

作成
更新
更新
更新
更新
2022年8月3日
2023年2月15日

NO.	項目	内容	平常時	災害時	避難生活時	手順	資料	連絡先	備考
1	初期消火用設備、備品確認	防災倉庫点検・補充	○			防犯・防災担当と連携、資料更新			
	消火設備、器具の確認	消火ポンプ操作、消防団からの指導	○						
	消火訓練の実施	団地祭りの一部に消火訓練などを盛り込む	○						
		会員全員に体験してもらうように団地内で実施							
		消火器実施訓練							
		無線の使用訓練							
2	初期消火	優先度見極め		○		情報連絡班や各班とトランシーバで連			
		消火ポンプでの初期操作		○		指定倉庫から取り出し			
				○		ホース接続(他の班の応援要請)			
				○		最短の貯水槽を選択			
	二次被害の予防								

【応急救護】
 班長 鈴木(4) 二瓶(4)
 副班長 小杉(2) 中(9)
 野澤(14)

作成
更新
更新
更新

2022年8月3日
2023年2月15日

NO.	項目	内容	平常時	災害時	避難生活時	手順	資料	連絡先	備考
1	応急手当方法の取得	負傷手当訓練、人工呼吸、三角巾 AED実施訓練	○			負傷者の救出方法と応急手当の方法を 習得するため避難訓練等を利用し、指導 を受ける機会を設ける。			
	備品の確認と補充	防犯・防災担当と連携、資料更新 4か所の防災倉庫に救急医療セットと 救出用具を準備する 医療セット、三角巾、災害用アルミ保温シート バール、ジャッキ、担架	○						
	救護所開設訓練	応急手当訓練を同時に実施	○						
	救護関連人材台帳作成	看護師、医師など	○						
2	負傷者の救出救護			○	○				
	負傷者の救出救護			○	○				
	救護所の開設運営			○	○				

【避難誘導】

班長 真田(6)
副班長

太田(5)
長野(10)
松坂(15)

作成
更新
更新
更新

2022年8月3日
2023年2月15日

NO.	項目	内容	平常時	災害時	避難生活時	手順／準備	資料	連絡先	備考
1	避難ルートの確認	会員全員に周知	○						
	避難訓練実施	三町合同訓練時に実施(以下避難誘導)	○						
	避難者台帳作成	要介護者、支援者など住民台帳作成	○						
	避難所開所訓練	給食給水・情報連絡・消火班などと連携	○						
2	避難誘導	1. 初動 ・班長、班員は団地中央電話ボックス前に集合し点呼をとる。 2. 避難経路の確認 ・設定された避難経路が安全に通行可能か確認する。 ・設定された避難経路が通行不可の場合代替経路を設定する。 3. 誘導 ・班長、班員は2班に分かれる。 ・1班は辻角に立ち避難者を誘導すると共に避難者数を数える。 ・不用品を持たない様注意する。		○					
3	避難行動要支援者誘導	4. 避難要支援者支援 ・他班は避難要支援登録者宅に向かい、避難を援助する。 ・黄色布表示の無い家を訪ね状況を確認する。 ・必要であれば避難を援助する。		○					
4	情報伝達	5. 情報伝達 ・避難状況を纏めて情報連絡班に伝達する。		○		特定省電力トランシーバーは班数必要8台			
5	避難所の開設	6. 救護所設営 ・必要に応じてテントをスポーツ広場(又は適所)に設営する。		○					

【給食給水】
班長 名古(13)
副班長 岡田(9)

前田(1)
小林(6)
関(11)

作成
更新
更新
更新

2022年8月3日
2023年2月16日

NO.	項目	内容	平常時	災害時	避難生活時	手順	資料	連絡先	備考
1	非常飲料・非常食準備	常備食、飲料の確認、補充、管理	○						
		防災倉庫リストの追加修正	○						
		非常食、非常飲料は3年ごとなど分けて購入準備するように予算化する。	○						
		配布管理ノート作成	○						
	給食秋水機器、備品準備	機材確認、追加更新	○						
	救護所開設訓練	テント設営、非常食試食	○						
		救護所レイアウト実施(椅子、机、コンロ、給水タンクなど)	○						
2	救護所開設	*避難所の開設と給食サポート							
		小学校に避難後、状況を見てスポーツ広場かパンダ公園に移動して開所の準備をする		○					
		2開所が完了したら各班長に無線で連絡する							
		3配布ムラがないように帳簿で管理する。							
		*3日を目安に食料と水の配布を管理する							

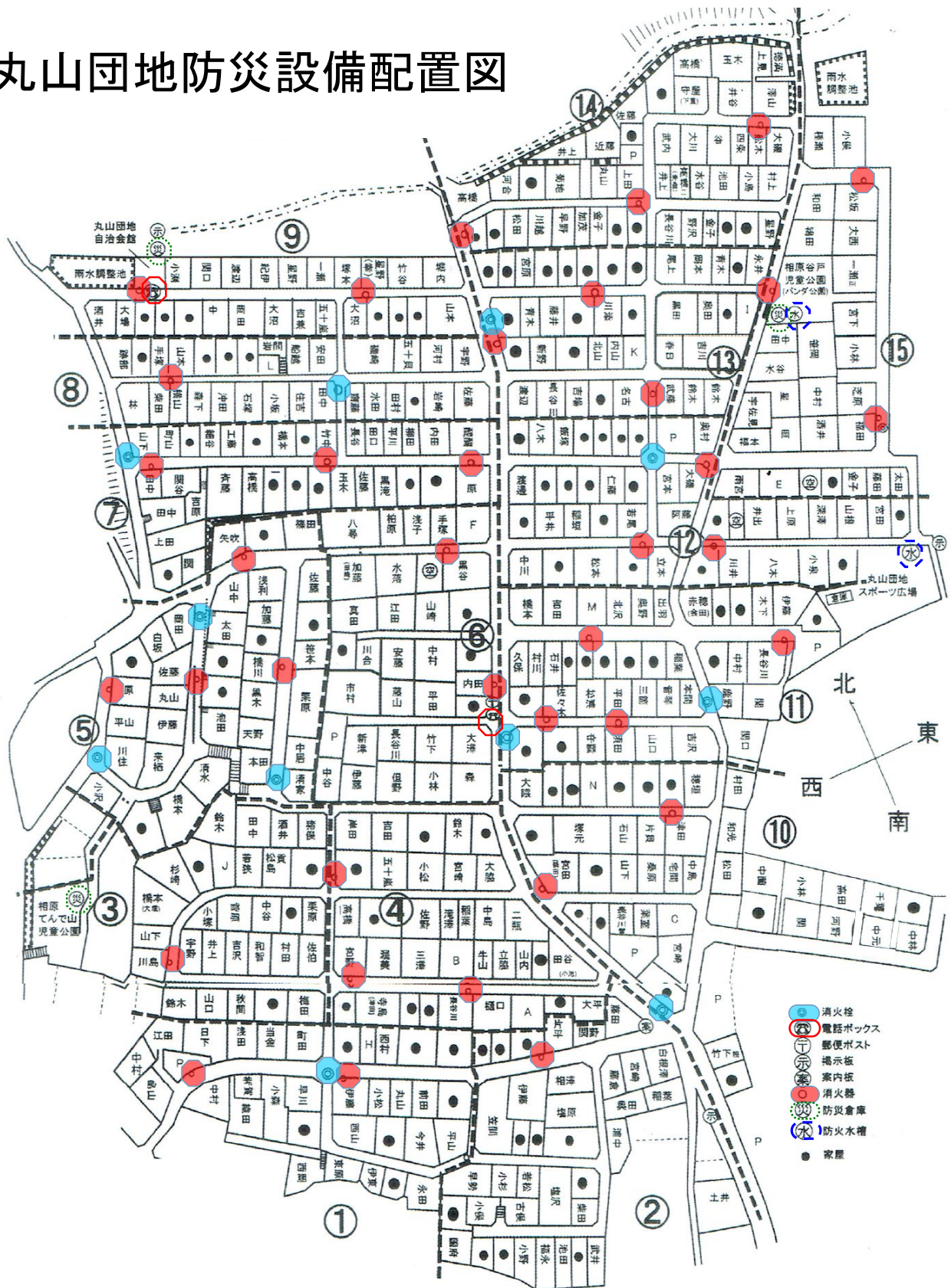
【庶務】
班長 手塚(8)
副班長大磯(12)

作成
更新
更新
更新

2022年8月3日
2023年2月16日

NO.	項目	内容	平常時	災害時	避難生活時	手順	資料	連絡先	備考
1	避難と生活時の計画	避難行動と避難所の生活サポート検討	○		○				
		避難訓練	○	○					
		鍵管理	○						
2	避難所管理	活動全体の把握とサポート、指示							
		・団地内の状況確認(無線使用)		○					
		・団地内の状況に応じた各班への指示		○					
		・小学校避難者管理			○				
		・名募作成及び避難所への連絡			○				
		・外部機関・団体等の連絡及び各班への指			○				

丸山団地防災設備配置図



第一回自主防災隊検討会

2023年2月11日

班

情報連絡 1 防災情報の通知について

周知されていない部分があるので、回覧するにしても防災のみの回覧にし、大事な部分は大きな文字で記載するなどして分かり易くした方が良いのではないかな。

(1) 玄関の黄色のタオル表示について

黄色いタオルでなくても良いのではないかな。

いざという時に直ぐ出せる様に玄関に置いておける物、

例えば小さい旗の様な物を

用意出来れば良いと思う(お金が掛かってしまいますが)。

(2) 非会員への周知について

玄関へのタオル表示等の取り組みについては、ビラ等を配布する等して、知らせておいても良いのではないかな。

2 情報機器、備品確認について

(1) 情報機器の拡充

トランシーバー、拡声器の数を増やして欲しい。少なくとも各班長宅には用意しておきたい。

(2) ヘルメットについて

理事、班長は引き継ぎ品があるが、その他の方にも用意できないかな。

→ 防災倉庫にいくつかある。非常持ち出し袋等と同様に個人で用意しておくべき物の範疇ではないかな。

3 被害状況の把握

相原小学校に行き、訓練と同様、各班内の被災状況等を確認後に来た各班の担当者から情報を収集し、安否情報を取りまとめ、会長等責任者に報告する。

4 その他

(1) 火災発生時、要救護者発見時等、緊急に対応が必要な時は、それらの対応を優先する。

(2) 消化班、応急救護班等との連携。

消火

1 防災活動を知ってもらう

団地祭りの一部に消火訓練などを盛り込む

2 訓練の充実

会員全員に体験してもらうように団地内で実施

消火器実施訓練

無線の使用訓練

AED実施訓練

応急救護

- 1 負傷者の救出方法と応急手当の方法を習得する為
避難訓練等を利用し、指導を受ける機会を設ける。
- 2 救出、救護用具の充実を図る。
4か所の防災倉庫に救急医療セットと救出用具を準備する
(医療セット、三角巾、災害用アルミ保温シート)
(バール、ジャッキ、担架)
- 3 検討課題
災害時に対応出来る防災倉庫のカギの管理方法。――>理事会で検討
自治会設置の救護所に簡易トイレを用意

避難誘導

- 1 一般事項
 - ・防災マニュアルの広報が重要。単に”読んでくれ”だけではなく
”読んだか?” ”家庭内で話し合いをしたか?”の確認も必要では?
 - ・黄色布表示は色、大きさが曖昧なので、費用が掛かっても
専用の”無事です”表示が必要と思われる。
 - ・環境整備等 班全員が集合する機会に防災関連の啓蒙、訓練の時間を
設けてはどうか。
- 2 避難誘導関連
 - ・避難者が路地に入らぬ様、辻角での誘導が必要。
 - ・他班との連携が非常に重要となるので情報伝達手段(トランシーバー)
は相当拡充の必要がある。
 - ・避難要支援登録者の情報は個人情報であるので誰が共有するか、
災害時どう伝達するか検討要。

給食給水

- (1) 平常時活動
 - 1 救護所開所訓練で実際に則した訓練の実施
 - ・救護所レイアウト実施(椅子、机、コンロ、給水タンクなど)
 - ・実食実施(コンロなどを使用して実際に試食)
 - 2. 給食給水準備
 - ・非常食、非常飲料は3年ごとなど分けて購入準備するように予算化する。
 - 3. 配布帳簿の準備
- (2) 災害時
 - 1 小学校に避難後、状況を見てスポーツ広場かパンダ公園に移動して開所の準備をする。
情報連絡班と連絡を取り可能な公園を選定
 - 2 開所が完了したら各班長に無線で連絡する。
 - 3 配布ムラがないように帳簿で管理する。
* 3日を目安に食料と水の配布を管理する。

庶務	(1)避難と生活時の計画	避難行動と避難所の生活サポート検討
	(2)避難訓練	避難所(小学校)の管理・連絡など訓練
	(3)鍵管理	防災倉庫鍵管理(鍵BOX管理(予定))
	(4)避難所管理	活動全体の把握とサポート、指示 ・団地内の状況確認(無線使用) ・団地内の状況に応じた各班への指示 ・小学校避難者管理 ・名募作成及び避難所への連絡 ・外部機関・団体等の連絡及び各班への指示